

寿都町のみなさまへ

6月25日（金）、寿都町総合文化センターウイズコムにて、第2回「寿都町対話の場」が開催されました。当日は、①前回の意見を踏まえた会則（修正案）の議論と②ワークショップ（テーマ「地層処分について思うこと」）が行われました。

①寿都町対話の場の会則（修正案）の議論

第1回対話の場（4月14日開催）や開催後に会員のみなさまからいただいたご意見を踏まえた、会則（修正案）をNUMOより説明しました。会則に反映できなかったご意見についても、今後の対話の場の運営等にしっかりと活かしていくことをご説明し、みなさまのご了解をいただきました。決定した会則はNUMOホームページ※で公開しています。※裏面下段をご参照ください。また、寿都交流センターでもご説明させていただきますので、お立ちよりください。



片岡町長
寿都町の将来に向けた、みなさまの自由闊達な意見交換によって、より良いまちづくり資する場となるよう、よろしくお祈りします。



対話の場（ワークショップ）の様子
当日は会員18名のうち13名が参加されました。



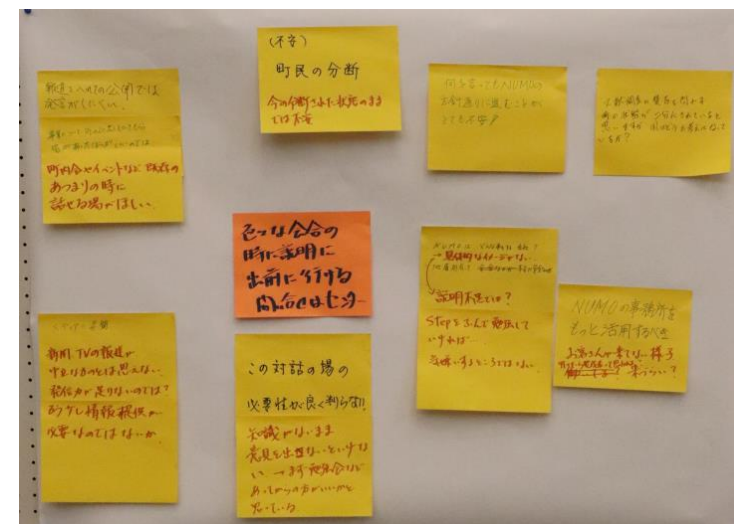
②ワークショップ

テーマ「地層処分について思うこと」

前回に引き続き、北海道大学の竹田先生をファシリテーターに迎え、今回は「地層処分について思うこと」をテーマに意見交換を行い、会員のみなさまから率直なご意見・ご質問を多数いただきました。これらを、今後の対話の場や町内における諸活動に活かしていきます。会員のみなさまから出された、すべてのご意見・ご質問を裏面に掲載しましたので、ご覧ください。



ファシリテーター
北海道大学 大学院 工学研究院
客員教授 竹田 宜人先生



「地層処分について思うこと」を、会員のみなさまが付箋に記載し、模造紙に貼りだしました。この模造紙は、NUMO寿都交流センター入口に掲示してあります。（NUMOホームページでもご覧いただけます）

ご意見の分類	会員のみなさまより付箋にお書きいただいたすべてのご意見・ご質問（付箋の内容を原文のまま転記しています）
進め方で工夫してほしいこと	<p>報道を入れての公開では発言がしにくい。 この対話の場の必要性が良く判らない。 若い世代の人も対話の場に参加できるようにしたほうがいいのでは 対話の場の補充メンバーを団体の代表とかではなく一般町民の希望者から選出※ただし意見の片よりにしてほしい</p>
説明してほしいこと	<p>文献調査の進捗状況について説明を詳しくお願いしたい。 文献調査がどのように進んでいくのか？ 文献・概要調査は全国で最大何ヶ所まで応募受付するつもりなのか？ そのうち精密調査は何ヶ所行なうつもりか？ 精密調査は1ヶ所で総額いくら位を想定しているのか 幌延などを例として実際に今までどの位費用がかかったのか？ 精密調査に進むためには地元同意以外にどのような条件をクリアする必要があるのか 地理的環境・要素などある程度を列記して説明してほしい 幌延の実験施設の実験データ等（調査結果）の情報を公開してほしい（知りたい）。出来る範囲で構わない。（施設も含む）当初の計画を途中で変更せざるを得なかった事等（原因・結果等）もあったのか、なかったのか？ 地層処分事業について、いまひとつ理解出来ないの、これからの勉強の場で、やさしく説明を頂きたい。 地層処分の安全性について具体的にわかりやすく説明してほしい 地層処分の内容がまだよく判らない。（安全性？） NUMOは、どんな事をする会社？ 地層処分って本当に安全なのか 低レベル放射性廃棄物についての説明がない</p>
説明方法で工夫してほしいこと	<p>先日の議会でも話題になった様に幌延実験センターの視察をし、地層処分の実体をこの目で確認してみたい。 六ヶ所村、幌延町の実態を把握すべく現地に行ってみたらいいのではないかな。 地層処分事業について、理解を進める上で、実際にはどの様なものなのか 視察をする事も必要ではないか？ 賛否とは全く関係せず、まずは理解する事。 ある程度のイメージをつかめる様な策はないか？（視察、映像等） 専門家を招いて勉強会を開催して知識を深めたい</p>
活動の提案	<p>中高生の意見を聞いてみたい。 対話の場以外にも若い世代の人たちが議論する場があってもいいのでは！！ 事業について町の人に広く知ってもらおう場があったほうがいいのでは。 子供達にもわかりやすく学べる機会があったほうがいいのではないのでしょうか 今回の文献調査により町民の多くが寿都の未来を考える様になった。話し合いの場をたくさん作って下さい。千載一遇のチャンス！！ 町民にも不安に思う所が有り少しで安心出来る機会や情報の発信を NUMOの事務所をもっと活用すべき NUMOでビデオ(学習用の) などがあるなら、TVすつつで流せます</p>
心配していること その他	<p>メディアの姿勢 (不安)町民の分断 何を言ってもNUMOの方針通りに進むことがとても不安！ 文献調査の賛否を問わず町の状態が二分化されていると思いますが、国はどうお考えになっているか？ 町民の中には核のゴミが来るものだと思ってる人が多く少しでもふっしょくしてほしい。</p>

※会員のみなさまからのご意見・ご質問をまとめてみました。

第2回「寿都町対話の場」における会則など配付資料や映像、上記付箋などは、NUMOホームページでご覧いただけます。



第2回 2021/6/25(金)

配付資料 (PDF形式: 2.10MB) 
※会則については、会員間で合意が得られたものを掲載

対話の記録 (PDF形式: 636KB) 

配信映像 (YouTubeへリンクします)

NUMOホームページトップ下段、
「文献調査の状況」→「文献調査実施中の地域」→「寿都町」→
「これまでの経緯」→「2021年6月25日 [対話の場（第2回）を開催](#)」

原子力発電環境整備機構(NUMO)

<https://www.numo.or.jp>

NUMO

検索



お問い合わせ先：原子力発電環境整備機構 NUMO寿都交流センター E-mail: suttu@numo.or.jp

〒048-0401 寿都町字新栄町113-1 (TEL)0136-75-7576 (FAX)050-3512-1728 (開館時間：平日10時～17時)